黒川河川等の災害対策工事 本格的に始まる

▼黒川河川激甚災害対策特別緊急事業着工式

昨年7月の九州北部豪雨で大きな被害を受けた、黒川河川沿いの災害対策工事が本格的に着工するのに際し3月9日、農村環境改善センターで阿蘇市と熊本県の合同主催により、着工式が開催されました。

着工式には、熊本県副知事をはじめ来賓や関係区長など約130名が出席。冒頭で佐藤市長が「関係機関との連携を深め、三度（みたび）このような惨事を繰り返すことのないよう、将来にわたる恒久的な治水対策、減災対策に取り組むことが最優先事項」とあいさつを述べました。

▲関係者による安全祈願の様子。

総事業費は約220億円で、工事は概ね5ヶ年にわたり、主に次の3つの工事が予定されています。なお、工事が長期化するため適時進捗状況を報告します。

①一の宮町坂梨～車帰までの延長約27㎞間の河川掘削工事

②遊水地設置工事

③河川沿いにおける輪中堤工事・宅地嵩上工事

一の宮中学校体育館が完成

▼一の宮中学校体育館落成式

老朽化と耐震性不足により、昨年7月から改築工事が進められてきた、一の宮中学校体育館が完成し3月24日、落成式典が開催されました。

▲新体育館の外観。

生徒や地元区長、工事関係者など約300名が出席し行われた式典では、工事の経過報告、設計・施工監理、新築工事の請負業者（以下参照）へ感謝状の贈呈等が行われました。

最後に、生徒を代表して首藤未来さんが旧体育館の思い出を振り返り、「新体育館で学習や部活動に励み、充実した中学校生活を共に過ごす大切な場所にしたい。新しい体育館との出会いが将来の誇りとなるよう、今しかない中学校生活を送っていきたい」と、謝辞を述べました。

4月には早速、この新しい体育館で始業式と入学式が執り行われます。

▲落成式で校歌を斉唱する生徒ら。

○体育館施設の概要
RC+S 造 1 階建て　2114.76㎡
体育館のほか武道場や卓球場、部室、トイレ完備

○総事業費
5 億 3173.4 万円
（内訳）
国 交 付 金：1 億 642.4 万円
教育施設基金：2 億 2000 万円
起　　債：1 億 7150 万円
一 般 財 源：3381 万円

○施工者
（設計・工事施工監理）
株式会社田中建築設計事務所
（新築工事）
岩永・佐藤・昭電社・古屋建設工事共同企業体
［構成員］　㈱岩永組・㈱佐藤建設
　　㈱昭電社・㈱古屋産業

阿蘇の玄関口に新たな名所
-阿蘇駅前に噴水広場が完成-

阿蘇の玄関口である阿蘇駅周辺に、どなたでも利用できる「阿蘇駅前噴水広場」を整備しましたので、その概要を紹介します。

これまでにない新しい噴水広場として、阿蘇市の新名所になると期待されますので、皆さん是非お越しください。

防災設備としても活用！

広場の地下には地域の防火用水として利用できる耐震性の貯水槽（100㌧）やベンチの座面を外してテントで囲むとトイレになる防災トイレを整備しています。

国内初の特殊な噴水！

広場内の直径８ｍの噴水。噴水の特徴は、国内で初となる特殊なノズルを採用しており、吹き上げられた水の塊はクラゲのように広がって落下します。花火のように広がる演出も採用しており、夜間は様々な色の発光ダイオード（ＬＥＤ）で照らされ、噴水演出をお楽しみいただけます。

※演出は１日に約 20 回程度（１回約５分）行う計画ですが、季節や天候によりショーの内容及び回数を変更する場合があります。

地域の皆様の癒しの空間の確保や交流の促進を図るとともに、
災害時の一時避難場所としての防災機能も備えた噴水広場です。

離婚・相続・借金・交通事故・土地の境界 etc…　ひとりで悩まずお気軽にご相談ください。

受付時間：平日１０時～１７時（事前予約制）ＴＥＬ：０９６７－２２－５２２３

・一般 相談料　３０分１０５０円
・『多重債務』の相談 は 無料

阿蘇ひまわり基金法律事務所
地域の法律事務所として設立された公設事務所です。

熊本県弁護士会所属　弁護士　関塚 明子（せきづか　あきこ）
〒869-2612　阿蘇市一の宮町宮地2005-8-203（阿蘇市商工会一の宮支所となり）

広告